

南北ウォーターシルクロードの物語 南北水絲路 聽水說故事



財團法人紀念八田與一文化藝術基金會

2014年 03月

目 錄

Part1. 北と南の水ものがたり.....	01
北與南的水故事.....	11
Part2. 2009 年度日本土木学会土木遺産一 八田與一技師（烏山頭水庫）.....	20
2011 年度日本土木学会土木遺産一 保原元二技師（夕張川新水路）.....	22
2009 年度日本土木學會土木遺産 八田與一技師與烏山頭水庫.....	24
2011 年度日本土木學會土木遺産 保原元二技師與夕張川新河道.....	25
Part3. 悲願の夕張川新水路の通水	26
誓必實現之夙願一夕張川新水路之通水.....	28

感謝資料協助:

- ◇感謝「日本土木學會」指導。
- ◇感謝「日本土木學會台灣分會」協助編輯、審查。
- ◇感謝山崎晉先生提供資料、協助編輯。
- ◇感謝前台灣省政府水利局鯉魚潭水庫工程處處長呂榮晉先生協助潤稿並訂標題。
- ◇感謝名櫻大學 上江洲 基教授贈書，《札幌農学校》一冊。
- ◇感謝嘉南水利會烏山頭管理處行政股長洪振東，轉知青木生子小姐信件，就銅像保全契機資訊供查證【註釋4】。

編輯參考:

- ◇蝦名賢造，1980，《札幌農学校》，PP. 172-174，東京:株式會社圖書出版社。
- ◇伊藤兼平，1965，小說《治水》，P. 14，夕張川切替 30 年記念小説出版協力會。
- ◇本手冊北海道之工程等補充資訊，大部份來自「国土交通省」・「国土交通省北海道開發局札幌開發建設部」等官方網頁資料：
- ◇日本の河川技術の基礎をつくった人々・略史人物－30，2014. 1. 20 取自
http://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kasen/rekishibunka/kasengi_jutsu11.html
- ◇長沼町・南幌町治水，悲願の夕張川新水路，PP. 061-062，2014. 1. 20 取自
<http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/kasen/10chisui100/pdf/han007.pdf>
- ◇<http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/kasen/08isiken/02genba/33yubari/history.html>
- ◇http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/kasen/10chisui100/tryuikishi/t2_03_02.html

北と南の水ものがたり¹

山崎 晋²

小生は主業の農業の傍ら、農機具のパーツを海外から輸入し販売している。仕事の都合、年に何回か外国へ行く。その訪問先で度々、日本と関わりのある歴史的所産や人物に遭遇する事がある。その中で特に関心が募り遂にはその地域と我が故郷が、不思議な縁で繋がっていたという話をお伝えしたい。

その訪問先というのは、台湾台南県の烏山頭（ウサントウ）という所。そこに戦前の日本統治時代に国策で造られた水庫（ダム）がある。設計・施工にあたったのは、八田与一技師、日本ではあまり知られていない人物だ

が、台湾では治水功労者として非常に有名である。少しネットで検索して見ると良い。、、、「嘉南大圳の父」とか「台湾で最も敬愛される日本人」とかの字句が飛び出すであろう。

それもその筈、八田技師は台湾では非常に功労のあった土木技術者で、六十万人の農民の生活を救った人物なのだ。彼は現石川県金沢市出身で、今から丁度百年前の1910年（この年号重要）に旧東京帝国大学土木工学科を卒業し、同年台湾総督府に就職した。その台湾で与一は、南西部の嘉南平原十五万町歩（石狩平野三十八万町歩の四十割相当）の農地開発を命じられた。

当時の嘉南平原は、治水が未整備で、雨期には洪水や氾濫、乾期には田畑は干上がり塩も噴き出す程で、農作物を育てるところか飲料水にも事欠いていた。そこで暮らす農民達は低い生産性のもと苦しい生活を送っていた。この平原を灌漑によって開発すべく与一は、官田溪という河に東洋一の水庫を造り、地球を半周もする用排水路（台湾では大圳）を造り給水する計画をたてた。この水庫は独特の構造で（コンクリートの使用量が少なく土砂で固めた、セミ・ハイドロリックフィル工法）（はんしやすいしき）であり、工事も当時のハイテク大型重機（蒸気機関等）を多く使う近代化工法の先がけでもあった【註釋1】。

¹文章の原文は平成22年(2010)6月27日より7月18日及び7月25日発行の南空知新報第1421号・1422号、1423号、1424号及び1425号より全文転載。

²山崎晋氏。元長沼土地改良区理事。北海道で農業の傍ら、農機具の輸入販売業に従事。台湾を何度も訪れており、戦前海外に貢献した日本人—「八田與一技師」に非常に感佩する。2008年に金沢市で上映されたアニメーション映画「パッテンライ！！」は当時の北海道ではほとんど知られていなかった。2010年になり、財団法人北海道河川防災研究センター製作の「保原元二技師」の北海道の水利への貢献を題材にした実写映画「夕張川」を観たことがきっかけで、二人の技師が同期生であると気づく。その年は思いがけない偶然の一致が多かった。二人の技師の貢献が後世に残し伝えているものは、現代の私たちを目覚めさせ激励してくれる。故に2010年に北海道でこれら二つの作品の二本立て上映会を行うために「北と南の水ものがたり長沼上映実行委員会」を発足させ、実行委員会事務局局長を歴任。北海道と台湾の交流の架け橋となり、骨身を惜しまず長年ご尽力いただいている。本文はその当時の活動記録であり、噛みしめるように拝読しました。北海道の地元の皆様ならびに政府関係機関の方々の多大なご支援ご協力をいただき、感激と感謝の気持ちで胸がいつぱいです。

しかし工費は莫大にかかり、当初は現地の農民や作業員も日本人に対する不信感が根深く、工事中にはガス爆発事故等もあり多くの犠牲者も出した。事故後には事業縮小もとりざたされ、関東大震災の影響もあって、工事続行も危ぶまれた。この様な事態に与一は、台湾人・日本人の分け隔てなく平等に対処し、総督府に対しても台湾人の立場に立って強く臨んだ為、次第に現地の人達の信頼を得ていった。

こうして水庫は十年の歳月と、莫大な予算と、多数の犠牲者を伴って完成した。完成当時は東洋一の規模で、現在でも充分機能している長寿の水庫である。(寿命は当初50年と見られたが独特な貯水法の為100年以上もつ)という事で世界的にも注目されている。

ただこの水庫の水量(一億五千万 m^3)だけでは、嘉南平原十五万町歩の三分の一にしか灌漑出来ない(なにしろ一基のダムで石狩平野の四十町相当を灌漑しようと言うのだから)。

そのため平原全体の農地に水が公平に使えるように給水区域を三分割し、三年に一度だけ水田を作り他の二年は畑作を区画別に行うという、三年輪作法というアイデアも与一は提案した。これでも、米が年三作以上収穫できる上、広い平原は三年に一度の水田作によって除塩され、更に田畑輪換によって収量も安定・増加した。その結果嘉南平原は台湾一の穀倉地帯と

して発展していった。そして飲み水にも苦勞していた農民達の生活は豊かになった。

ここまでの話は日本が台湾を治めた植民地政策の成功例であり、与一の技術者としての能力と品格がもたらしたものといえるだろう。しかし、この八田与一の話は成功物語では終わらない。これには後編があって、それは、悲劇に他ならない。水庫完成後、与一は軍命によりフィリピンの農地開発に向かう事となった。ところが渡航中、船が米潜水艦に沈められ、あえなく戦死する。五十六歳の時であった。その後終戦となり、今度は妻の外代樹(トヨキ)も夫の死を悔やんで、愛する夫の設計した水庫に身投げする。四十五歳であった【註釋2】。二人の死を嘉南の農民達は非常に悲しみ、御影石の墓も建てた。

現在墓の前には与一の生前に建てられた銅像もあるのだが【註釋3】、この銅像は過去二回破壊の危機があった。一度目は戦時中日本軍による金属供出の時【註釋4】、二度目は戦後の国民党による壓政で日本人の銅像等は敵性資産とみなされ没収廃棄の運命にあった時【註釋5】。二度に渡り破壊の危機にあった銅像は、見つければ厳罰に処される事を覚悟の命懸けで、農民達によって隠し守られた。そして1981年元の台座に安置された。(故に台湾には戦前からの日本人の銅像は八田技師のものしかない)、この様な訳だから正に与一の銅像は、御神体そのもので

あり、彼のもたらした水は神の恵みなのである。

そして毎年、命日の五月八日には、地元嘉南農田水利会によって墓前祭が執り行われている【註釋 6】。昨年の墓前祭は67回目、八田家の遺族や故郷金沢の有志が多く参列していたが【註釋 7】、戦前の日本人の慰霊祭であるにも関わらず、台湾の国家元首、馬英九総統も来賓として参列していたのである。与一の台湾に及ぼした影響もさる事ながら、水利会ははじめ台湾の人々の感謝の念に、日本人として頭の下がる思いであった。更に現地では水庫を世界遺産登録に向けての運動も盛り上がっている。また台湾の教科書にも載っている。

これまでのことは台湾で脚光を浴びだしたのは、1980年代後半からの親日家の李登輝政権の民主化時代になってからである。日本でも台湾日本人学校の教師であった古川勝三氏が20年程前に「台湾を愛した日本人」で紹介され、更に李元総統と交友の有った作家司馬遼太郎の「街道を行く台湾紀行」にも載せられている。その後TV等でも紹介されているのだが、知ってる人は少ないようである。

この様に八田与一技師の話は台湾では、非常に有名なのだが、日本では故郷の金沢以外では知る人は余りにも少ない。まして台湾から遠く離れている本道では尚更であろう。日本では、海外で良い仕事をした人は本国では注目されづらいという傾向にある様

だ。中国での原正市しかり、リトアニア国での杉原千畝しかり、ブータン国でのダシヨウ西岡しかり、(3者の詳細は要ネット検索)他にももっと外国で功績をあげた日本人はいるだろうが、国の内外でともに有名なのは、野口英世くらいなものか。しかし野口を含めて四人の功績は個人のものである。それにひきかえ八田技師の話は他の多くの日本人も取り組んだ仕事であり、現に形に残っているのに日本では無名とは、何とも不思議な話である。

ここは団体視察で見識を高めるには最高の所だと思うのだが、日本では有名でない為に、どこの団体も押し並べて興味を示す事は少ない。ネットでググればすぐに分かる時代なのに何とももったいない限りである。【ここまでの説明で日本領時代の台湾とか水庫(ダム)とかは、今の時流からすれば、明らかに逆を行っている事と思われるだろう。領台時代が良いと言えれば復古主義で、水庫は紛れもないダムのこと。それが良いといえば反脱ダムと云う事になるだろうが、小生はその事を言う為に電鍵を押しているのではない。そう云う風に受け取られる事は致しかたないが、小生には不本意な事だ。小生はただ見聞したことを感想を踏まえて、時系列的に淡々と説明しているだけで世に云う特別な思想や運動を広める事が目的では無い。小生の意図する事は別の次元のことで、また軽薄な二チャンネル情報に一喜一憂しているネットおたくでもない。数々

の情報を受け取り、事実を現地に赴いて検証したことを述べているのであって、その事を御理解願いたい。】

ところで現在、この事を題材にした映画が二本ある。一本は台湾製作の「水色嘉南」実写映画で五年程前から製作開始され、紆余曲折の末(要ネット検索)今年から台湾でTV放映されている。現地では台湾語版 DVD もすでに販売されていた。内容は近代的大事業の中に、八田夫妻の私生活を折り込んである。戦前の台湾についてのドラマなど初めてなので、台流ドラマとして日本上陸も間近で、その時はブーム必死と予想されている。

もう一本は、アニメで題名は「パッテンライ＝南の島の水ものがたり」(パッテンライ台湾語で八田が来るという意味)こちらの内容は日台二人の少年が水庫工事に伴って、八田技師とのやりとりの中で立派に成長いくという話。フィナーレは一青窈のエンディングソングで涙腺がゆるみそうになる等、中々見応えのある映画で、アニメながら子供だけでなく大人も見ると価値が充分ある。製作は鉄腕アトムで有名な虫プロダクションと与一の故郷金沢の北国新聞社、企画は(財)全国建設研修センターの緒方英樹氏、製作にあたっては文化庁の支援もあり文部科学省と日本土木学会の選定映画でもある。

現在順次、日本の各都市を巡回上映中であるが、長沼町でも、時代の先取りが出来ると思い、昨年二月試写会を

行った(全国では三番めで本道では最初)。結果は非常に好評で一般上映会に向けて各方面にも色々と打診を行った。しかし知名度の少なさがネックとなり、実行委員集めに難儀した。

いくら文科省選定のアニメであっても、歴史の中に埋没していた偉人伝の理解を得るには、小生等では力不足だとまざまざと感じた。「やはり台湾の話は百年前の、本道とは縁の薄い遠い遠い南の島の水ものがたりなのか、自分達の力でブームに火をつけるとするのは少々無理なのか、世間で充分認知されてからの方が余程楽だろう。時代の先取りというのはかくも難しい事か」と、思った。

そんなこんなでめげそうになっていた時、一枚のDVDが送られてきた。送り主は、本町二十九区の地域史編集委員で現ながぬま土地改良区理事。題名は「夕張川」内容は開拓当初より、暴れ川だった旧夕張川の氾濫に苛まれていた長沼・南幌(旧幌向)の窮状と、その打開に活躍した保原 元二という土木技師の話。地元長沼の町議会議員で郷土史家でもあった、故伊藤 兼平氏の著作—小説《治水》(夕張川切替三十周年記念刊行物 1965 年刊)が母材となっていて、他に南幌の郷土史家の故野崎昭三氏の《夕張川治水史略》等、長沼・南幌両町の史書も取り入れられている。伊藤翁はじめ、両町の実在の人物が多数登場している。水害の悲惨な話の中にも恋愛場面もある。この映画は 2005 年(財)北海道河川防災研

究センターにより制作され、TV 放映もされているが、当町では見た人は一割もいない様だった。

保原技師は道庁に就職早々夕張川の測量に赴く等、とりわけ石狩川水系の河川には縁が深い。他に網走にも赴任する等、本道では幅広く河川の仕事をした技師である。石狩川治水事務所長を九年間も務め、夕張川においては、直角に千歳川に向かっていた旧川を当町三区から江別市の市街手前までの新水路による切替計画をたてた。その間に財政難や事故を乗り越え工事を取りしきった。工事完了後流域では水害が大幅に減少した。又完成直前には、下流域の農民が氾濫を回避する為の違法な通水も黙認する等、温情も持った人柄でもあった為「夕張川治水の父」といわれている。これらの話も年配者はよく知っている事だが、若い世代では知る人は少ない。

小生も保原技師については南幌町の清幌橋のたもとに銅像がある事は知っていたが（現在はリバーサイド公園）、この DVD を見るまでは詳しい事は知らなかった。長沼神社にも石碑があり、七月一日には南幌町で、七月二日には長沼町で、其々慰霊感謝の祭典がなされている。国の内外を問わず治水功労者は尊いようだ。今一度郷土の歴史を振り返ってみるには、ぴったりの映画だと思った。

この DVD を先程のパッテンライの実行委員集めの合い間に何度もかけてみた。全 45 分間である。何気無く見て

いるうちに意外な事に気がついた「そうか、保原技師も東京帝大卒なのか？土木工学科卒なら八田技師と同じ学科では？」「うん？ひよっとすると」何回かリピートしてみる。「百年前の1910年東京帝大土木学科卒ならば同期同科ではないのか？」早速ネットで調べるがよく分からない。札幌の土木学会道支部にも確認したが、同期卒かどうかは詳しく調べなければ分からないとの事。翌日当町の図書館へ行き調べる。しかしよく分からないー伊藤翁の小説《治水》をもう一度よく読み返す。

「ん？あった。」「1910年明治四十三年七月十日、明治天皇御臨場のもと緊張の雰囲気の中で東京帝大の卒業式は執り行われた。うち土木工学科は31名であった」と。この31名の中に二人の名前が間違いなく載っていた。更に驚く事に、二人の直属の主任教授は、広井勇という教授で、彼は新渡戸稲造や内村鑑三とともに札幌農学校^{【註釋8】}の二期生で、小樽港北防波堤の設計者でもあると。二人の技師は同期生だった上、彼等の主任教授は北海道に非常に縁の深い人だったのだ。しかも1910年とは今年2010年の丁度百年前ではないか、縁が薄いどころではない。

何という偶然、何という巡り合せか、治水の父同志が丁度百年前の学友同志だったとは、しかも北と南の両地域では感謝慰霊の式典も毎年行われていて、小説にも映画にもなっていようとは。この話は天上界の両人以外は誰

も知らなかった事では？世界中探しまわてもこういう話はそうメッタには無いだろうー。ー。ー。まるで釈迦と孔子が若い時期同じ師匠について修行しインドと中国で其々聖人に成っていたというような話ではないか？

ーこれまで、台湾のことばかりに没頭していた小生は、意外な事実を発見してしまった。土木学会道支部でも、この情報で本が一冊書ける程だといわれた。しかし同時に、「地元の事は、何にも知らなかったんだ」という話にもなる。それにしても何故この時期に？これは、きっと八田技師が「君の地元では保原君も頑張ったんだ」と教えてくれているに違いない。そんな気がしてきた。

この不思議な関係を黙って見過ご

後記

19日の「海の日」に三回にわたり長沼町総合保健福祉センター「りふれ」で「北と南の水ものがたり」は上映された。後援、協力頂いた長沼町はじめ各団体や個人の多くの方々に参加して頂き本当に有難い気持ちでいっぱいです。

この半年、周到に計画したつもりだったが不手際は否めなかった。難しい局面に何度も出くわし、開催日なども幾度か変更した。それでも実行委スタッフの努力でどうにか開催でき、心か

す事は出来ない。今まで八田与一物語が遠い台湾の話だとばかり思っていたが、本道との絆が分ったからには「パッテンライ」「夕張川」の二本立て上映を行おう。テーマは「北と南の水ものがたり」、北海道と台湾の水にまつわる映画会という訳だ。夕張川流域の住民に強くアピールすれば、郷土の歴史を知るとともに、台湾との縁も理解してもらえる機会になるだろう。この事の意義を前面に打ち出して各方面に広く理解と賛同を求める事になり実行委員集めにも弾みがついた。その様な経緯で「北と南の水ものがたり長沼上映実行委員会」は、立ち上がった。そして明日7月19日は上映当日となり、多くの参加者を待ち望んでいる。

2010/07/18……………To be continued

ら「ありがとう」と言いたい。

実行委の出した情報と上映会で、きっと優秀な技師の功績が北の南「本道と台湾」の住民に役立っていることが理解されたと思う。その恩恵に報いる慰霊祭も両地域で行なわれていることも分ってもらえたららう。

さてスタッフの目的は遂げられたであろうか？全員が農業者だから、治水の大事さを訴えることが大目的ととらえがちになる。確かに治水は大事だ。古代中国の夏王朝は治水の巧ある

禹王が開いた。ルネッサンスの巨匠レオナルド・ダ・ヴィンチは、水利土木の功績があり、今でもミラノ郊外にはその遺構が残っている。日本でも空海や行基は宗教者であるばかりでなく、水利事業に貢献している。おしなべて偉人は治水に功がある。

だから、治水の大切さを避けて通るわけにはいかない。北の大地の現在あるのは、治水の万全さの裏打ちがあつて成り立っている。台湾の彼の地も同様だろう。しかし、そのことだけを大きく取り上げてみても一面的な事実だけを知らせることにしかない。今時、それだけを主張しては、批判中傷の渦中に身を置くだけである。

両映画は、そういう目的だけで作られているのではないだろう。もっと幅と奥行きが広い思いが込められている。尚更に二本の映画を同日に上映することで趣きは別の所であると感じてもらいたい。その趣きについては、スタッフの胸の内でも様々だろう。だから、あえてまとめてはいない。ただ「二つの水のものごと」によって忘

れられていた歴史と忘れられつつあった歴史の絆を再発見できたことは、ネットなどに書いてあった情報ではない。紛れもない新事実であり収穫だ。この再発見によって得られた感動だけは共感してほしい。

思えば遠い台湾での話が身近なところに縁があろうとは夢にも考えられなかった。それが伊藤 兼平翁による類希なる情報の収集力と発信力で、二つの水のものごとは偶然にも結ばれ、成就した。

この後は、静かな水面に一石を投げたが如く何かの影響を期待したい。それはいつか、涼風そよぐ夕張川の堰堤で、あるいは木漏れ日の差す烏山頭湖の畔で、言葉は通じずとも心の通じる人影が相互に発見できた時であろうか？その時が新しい水ものごとの始まる時だと期待して小生の拙い稿文を閉じたい。

北と南の水ものごとり
長沼上映実行委員会
事務局長 2010/07/25

※原作参考文献

- ◇台湾を愛した日本人－古川勝三
- ◇街道を行く台湾紀行－司馬遼太郎
- ◇日本人の精神－李登輝元總統
- ◇百年ダムを造つた男－齋藤充功
- ◇台湾の真相と心の声－林溪和
- ◇台湾的水庫－黃兆慧
- ◇DVD 嘉南大圳設計者－八田与一超芸映像公司
- ◇DVD 民衆の爲に生きた土木技術者達－大成建設
- ◇DVD 水色嘉南－中華電視公司
- ◇長沼町の歴史－長沼町
- ◇南幌町史－南幌町
- ◇小説 治水－伊藤 兼平
- ◇夕張川治水史略－野崎昭三
- ◇豊平川調査報文と保原 元二－中尾務
- ◇西の宮清談－北海道発局

- ◇バッテンライナー虫プロダクション、北国新聞社
- ◇夕張川－北海道河川防災研究センター(現北海道河川財団)

「註釋」

- 【註釋 1】 参照「日本の土工機械史」。大正 10 年（1921）頃から昭和初期にかけて、労働者不足から各地で機械化が進展し、日本の機械化の最初の隆盛期を迎えた。大正 11 年（1922）八田技師はアメリカ視察を行い、大型の土木機械を導入した。官田溪貯水池の堰堤築造工事に使用された機械は 47 種類に上った。
- 【註釋 2】 八田外代樹夫人は金沢の開業医の長女として生まれた。非常に優秀、良妻賢母で、夫を支えながら 8 人の子供を立派に育てた。長男の故八田晃夫氏は東京帝国大学土木工学科卒業。戦後は愛知県土木部長などの建設省の要職を歴任。八田外代樹夫人の銅像は 2013 年 9 月 1 日に烏山頭の八田與一記念パークの宿舎前に安置された。これからも永遠に慕い敬われていくでしょう。
- 【註釋 3】 嘉南大圳は 10 年をかけて建設された。1930 年 1 月、完成を迎えようとしていたその時、八田技師に台北の総督府へ帰任の辞令が下りた。従業員らは別れを惜しみ、その後も交流を続けるため「交友会」を結成し、八田技師が会長を引き受けた。交友会はまず先に工事期間中に亡くなった工事関係者とその家族 134 名のために殉工碑を建碑した。その他に交友会は八田與一会長が考え事をしている時の姿を、交友会のシンボルとして全従業員の心の糧にしたいと銅像を作ることを決めた。8 人が発起し 1,600 円を調達し、金沢市の彫刻家「都賀田勇馬氏」に銅像製作を依頼した。1931 年 7 月 31 日に除幕式を行った。
- 【註釋 4】 2012 年 8 月、青木生子氏よりお手紙を頂戴し、当時の銅像隠秘の往事についてお話があった。確証を得て、以下が銅像の無事残存を果たしたいきさつである：青木生子氏の父、坂井茂はダム工事従事者の一人で、戦後は「嘉南大圳組合」に勤務。兄の坂井登は 1945 年当時 17 歳だった。当時、戦時中の金属資源の不足を補うため、八田技師の「銅像」は撤去され鉄工所に送られた。溶解のうへ兵器製造に用いられようとしていたところを、ちょうど兄の坂井登が台南鉄工所で発見し、父に知らせ嘉南大圳の職員に連絡した。「銅像」はこっそり官田駅の倉庫に隠され、戦後やっと駅の職員に発見された。数十年経過し、政治経済情勢に緩和が見られた 1981 年、水利会が烏山頭ダムの八田塚前に新しい台座を設置し、この銅像を安置した。八田技師の銅像保存の重要人物である坂井登様父子に感謝申し上げます。当時の緊迫した政治風土の中で銅像を守ったことは、決死の覚悟での行動でしょう。今日の私たちはその勇氣に感動しています。坂井登様父子は水利会にとっての恩人です。
- 【註釋 5】 1931 年に完成した八田技師の銅像は、1944 年に金属供出のために姿を消した。戦後、台湾に数多く建てられていた日本人の銅像は国民党政府によりことごとく撤去された。水利会は 1975 年と 1978 年に銅像を元の場所に戻す申請をしたが却下されたにもかかわらず、1978 年に政府より銅像について追求を受けた。水利会は銅像が没収されるのではないかと、盗まれて売り飛ばされるのではないかとさえ不安で頭を悩ませた。その為、1978 年にガラス繊維製の銅像の金型を鋳造した。1981 年に再度申請を行い、政府は黙認の姿勢を取ったため、水利会は新しい台座を設置し、銅像をようやく元の場所に戻すことができた。2013 年 1 月 7 日、日本土木学会の皆様が烏山頭ダムをご訪問いただいた際、旧資料室に保管されていた金型をご覧いただき、水利会は金型も資産に繰り入れることの意義に気づかされました。ここに厚く御礼申し上げます。
- 【註釋 6】 水利会は 1942 年より毎年絶えることなく八田技師の慰霊祭を行っている。1945 年 9 月 1 日、八田夫人が逝去。1946 年 12 月 15 日、八田夫妻の墓が完成し、「東本願寺台北別院」に安置されていた八田技師の遺骨と共に八田夫人の遺骨を併せて納骨した。人々は自由に参拝を行った。八田技師の銅像は元の場所に戻る前、1976 年以前は八田技師の宿舎に置かれており、宿舎前まで回り道をし、手を合わせて頭を下げる人々の姿が多く見られた。元の場所に戻った後は、参拝に訪れる台湾人と日本人の人々が日増しに増加した。八田技師の長男の八田晃夫氏、武田啓夫氏（晃夫氏の東京帝国大学の同期生）、石川県議会議長長井賢誓氏、金沢市議会議員中川外司氏をはじめ複数の皆様の提案により、遠方から参加する方々を考慮し、元々は午前 10 時開始だった墓前祭の時間を、1990 年より午後 2 時開始に変更した。
- 【註釋 7】 馬英九総統は 2008 年 5 月 8 日（第 66 回）総統就任前に初めて八田與一技師の慰霊祭に出席。2009 年（第 67 回）馬総統は再び烏山頭ダムを訪れ、「八田與一技師没後 67 周年追思音楽会」に出席し、八田技師の宿舎跡地を復元・整備し「八田與一記念パーク」を建設すると表明した。シラヤ国家風景区管理处が設計施行を担当し、修復経費におよそ 1 億円の予算を編制。2 年の工事期間を経て完成した。2011 年 5 月 8 日（第 69 回）馬総統は八田與一記念パークの開園式典に出席。
「八田與一記念パーク」はシラヤ国家風景区管理处による 1 ヶ月間の試験営業を経て、2011 年 6 月 8 日より嘉南農田水利会によって正式営業を開始し、運営管理を行っている。
- 【註釋 8】 北海道帝国大学の前身。

夕張川新水路

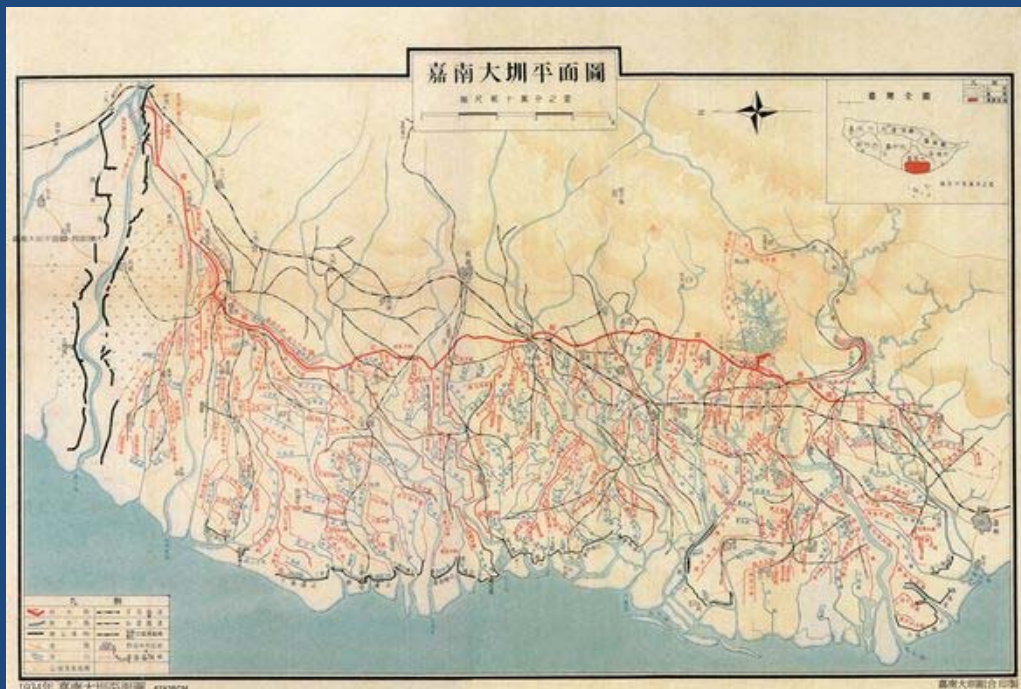
- 明治 43 年 (1910)
保原元二他、夕張川の測量に着手
- 大正 9 年 (1920)
工事開始、栗山、渋川の各治水工場設置
- 大正 11 年 (1922)
夕張川新水路工事着工
- 昭和 11 年 (1936)
夕張川新水路通水

これにより、石狩川低平地に広がる泥炭地は道内屈指の穀倉地帯へと変貌することとなります



註：新水路—河道改道 捷水路—截彎取直

嘉南大圳平面圖（施工期間 1920-1930）



註：珊瑚狀—烏山頭水庫；
紅線—幹、支、分渠；藍線—排水路、黑線—河、海堤

2010年7月活動當時海報

北と南の水ものがたり

昭和初期、北海道と台湾で繰り広げられた

水にまつわる 二つのものがたり



～北の大地の水ものがたり～

企画 (財)北海道河川防災研究センター

2005年制作 DVD 45分間

原作 伊藤兼平 著

「小説 治水」

1965年 夕張川切替30年記念刊行



往年の伊藤兼平氏



夕張川切り替えの地図絵



《私は、北と南の水ものがたりを推薦します》

今日の長沼があるのは、夕張川新開削工事のおかげと言っても、過言ではありません。その感謝の気持ちを再認識させてくれる「夕張川」と、その立役者であった保原元二先生と共に東京帝国大学工学部で学んだ八田與一先生が、遠い台湾の地で不毛の大地に挑んだものがたり「パッテンライ」。開拓の時代に生きた人々の、自然との闘いの感動の両作品です。是非ご覧下さい。

長沼町長 戸川 雅 光

- ・日 時 2010年7月19日(月)
【上映時間】 ①9:30~12:00 ②13:30~16:00 ③18:30~21:00
- ・場 所 長沼町総合保健福祉センター 「りふれ」
- ・主 体 北と南の水ものがたり長沼上映実行委員会 (実行委員長 土田孝幸)
- ・後 援 長沼町・長沼町教育委員会
長沼町農業団体連絡協議会 (JA ながぬま・水土里ネットながぬま・南空知ノーサイ)
- ・入場料 【前売券】 大人=600円、高校生以下=300円、600円券2枚で ペア割引=1,000円
【当日券】 大人=660円、高校生以下=330円、
- ・券売所 長沼町教育委員会社会教育課・JA ながぬま金融窓口・水土里ネットながぬま総務課
その他券売表示ポスター掲載場所 (当掲載場所では前売券の販売をしております)
- ・連絡先 土田 090-2692-5040 ・山崎 090-8271-8001 ・白川 090-3110-8293

北與南的水故事¹

山崎 晉²

敝人主要工作是農業，另從國外進口販賣農機具零件。因為工作上每年需要到國外幾趟。而在拜訪對象中常偶然遇見與日本有關的歷史跟人物。接下來分享這一段史話，特別令我感到興趣，因它的地域跟我的故鄉連接實有不可思議的緣分。

那個造訪的對象就是南方台灣台南市的烏山頭。那邊有日治時期（1895~1945）國策之下建造的水庫，由八田與一技師擔任設計、施工。八田與一技師雖然在日本非知名人物，但在台灣是水利貢獻者，非常有名。建議稍微上網搜尋，應該可看得到「嘉南大圳之父」或是「在台灣最受崇敬的日本人」之類的字句。

的確，身為拯救了六十萬農民生活的人物而言，八田技師無疑是台灣功勞卓著的土木工程師。他在石川縣金澤市出生，100年前的1910年（這年號重要）

東京帝國大學土木工學科畢業，同年就職於台灣總督府，奉命負責西南部的嘉南平原十五萬公頃（相當於北海道石狩平原三十八萬公頃的40%）的農地開發。

當時嘉南平原，治水利水工程尚未整備，在雨季會有洪水氾濫，在乾季，旱田乾涸到連鹽也噴出來的程度，不只無法栽培農作物，連飲用水也缺少。生活在當地農民們，在低生產性之情形下過著相當貧苦的日子。因此與一擬了工程計畫，以水利灌溉來開發嘉南平原，在官佃溪建造東亞最大的水庫，並建造繞地球半周那麼長的灌溉及排水路（在台灣稱大圳）來供水。這水庫大壩有獨特構造設計（混凝土使用量少，用泥沙、石凝固的所謂半水力填築式，即semi-hydraulic fill工法）來建壩，施工中也多使用高科技大型重型機械（蒸氣火車及其他動力設備等）是現代化施工法的先驅【註釋1】。

但因花費了莫大工程經費，當初當地農民跟作業員都對日本人根深蒂固的不信任感，且在施工中發生了瓦斯爆炸事故等，造成了多數的傷亡。事故後，工程事業縮小也被議論。再受到關東大震災影響，危及到施工進行。惟與一因為在這樣的情況下，仍不論台灣人或日本人一律平等對待，面對著強勢的總督府也堅定的站在台灣人的立場，故逐步得到當地人們的信賴。

結果，水庫工程在歷經十年歲月、莫大預算與許多的傷亡跟艱辛的施工中竣工。在完成當時有東亞第一的規模，到現在仍是充分發揮多功能的長壽水

¹ 文章原刊登於「南空知新報」第1421-1425號等5期，發表日期平成22年（2010）6月27日至7月18日、7月25日，全文轉載。

² 山崎晉先生，前長沼土地改良區理事，主業務農，並從事北海道農機進口業；到訪台灣多次，對於戰前在海外貢獻的日本人—「八田與一」技師非常感佩。2008年，日本金澤市上映「八田來了」動畫影片，在日本北海道鮮為人知，直到2010年，北海道河川防災研究中心製作「保原元二」電影「夕張川」，描述保原技師在北海道貢獻水利的電影，因而發現二位技師系出同門，且在當年的際遇有諸多巧合，二人對後世的長遠貢獻，對今人有著醒世的激勵，故2010年這二故事併陳在北海道成立「北與南的水故事長沼上映実行委員會」擔任募集實行委員事務局長；對台灣與日本北海道間交流，多年不辭辛苦，默默架橋。本文係當年活動記事，今日讀來心中對當年北海道民間及官方全力協助充滿感激。

庫（當初預測壽命 50 年，但因具備獨特蓄水管理法故可以維持 100 年以上）而引起國際注目。

不過只用這水庫的蓄水量（一億五千萬立方公尺），僅能灌溉嘉南平原十五萬公頃的三分之一，（但無論如何，這水庫可供應灌溉的面積，相當於北海道石狩平原的百分之四十）。

因此與一提出稱為三年輪灌法的計畫使全部的農地能充分均衡灌溉；供水區域分成三區塊，只三年一次為稻作，其他兩年分區實行旱作。這樣除稻米能夠收穫三作以上之外，廣大的平原歷經三年一次的水稻作可除鹽，並藉由田地輪灌也可得到穩定增加產量。結果嘉南平原發展為台灣第一的糧倉。而且原本連民生用水也有困難的農民們生活變得富裕起來。

以上所述只是日本在台灣殖民政策成功的例子，也可以說是身為土木工程師的與一先生之卓越能力及品格所造而成。但是，這八田與一成功的故事不是就此結束；因還有後段，無非是悲劇。水庫完成後，與一奉軍命赴菲律賓農地開發。在出發乘船途中，被美軍的潛水艦擊沉，五十六歲的他，悲慘地戰死。之後戰爭結束，夫人外代樹也懊惱先生不幸去逝，乃投身於摯愛的丈夫設計的水庫自盡、享年四十五歲^{【註釋 2】}。嘉南的農民們非常悲傷八田夫妻的往生，因而以花崗岩造墓祭拜。

現在與一夫妻墓前面也有與一在世建造的銅像^{【註釋 3】}，這銅像曾經兩次遭遇破壞的危機。一次是二戰中日本軍急

需金屬物資的時候^{【註釋 4】}，另外一次是戰爭結束後來台中國國民黨的強權政治，將所有日本人的銅像等視作敵性資產，差點兒被沒收廢棄的命運^{【註釋 5】}。面對著兩度差一點被破壞的銅像，農民們乃頂著被發現、遭嚴罰的風險，決心豁出命來遮藏保護。到 1981 年才歸位並加設台座安置。（所以當年在台灣，戰前的日本人銅像，只有八田技師一座而已），基於這樣的理由，與一銅像已是神體，而其所賜的水乃是神的恩惠。

每年 5 月 8 日八田忌日，當地嘉南農田水利會都會舉辦墓前祭^{【註釋 6】}。去年（2009）已經是第 67 次舉辦。八田家的遺族及故鄉金澤的同好以及駐台的日籍朋友很多人都列席，儘管這是戰前日本人的追悼會，台灣的馬英九總統也以來賓身分出席^{【註釋 7】}。這是基於過去與一對台灣有貢獻的影響，但是多年來，水利會與台灣大眾持續傳達的感恩之情，身為日本人亦低下頭來，非常敬佩與感動。再加上最近在當地推動烏山頭水庫登錄世界遺產的活動也熱鬧起來。還有台灣的教科書也將與一的故事納入教材。

這件事情在台灣之受到注目，係肇始於 1980 年代後半，親日的李登輝政權實施民主化時代的事。在日本方面，曾經在台灣日本人學校當教師的古川勝三大約 20 年前所著「愛台灣的日本人」一書中有介紹，而且李前總統的友人，作家司馬遼太郎的作品「漫步街道-台灣紀行」也有登載。嗣後電視上曾有介紹過，不過現在知道的人好像不多。

在南方台灣，八田與一技師的故事非

常有名，但在日本除了故鄉金澤之外，認識八田的人還是很少，何況是離台灣更遙遠的北方之北海道。在日本，赴國外傑出完成工作的人，好像在本國有不太受注目的傾向，舉凡在中國的原正市、立陶宛的杉原千畝、不丹王國的西岡京治等人都是（三位的詳細介紹請到網路搜尋）；其他一定還有更多在國外建功的日本人，不過在國內外都有名的可能只有野口英世；但是包括野口，上述四位的功績都屬個人的表現；與四位不同，只八田技師的故事是其他多數的日本人也參與其中，且當年所建造的工程仍巍峨矗立，竟然在日本卻仍沒沒無聞，這是非常奇怪的事情。

敝人覺得這裡是以團體視察，提升見識最佳的地方，可惜因為在日本不出名，不管是那裏的團體，總是興趣欠缺的表現，就算現在是網路 google 一下就馬上知道的時代還是一樣，真是非常可惜。【到此為止的說明，領台時期的台灣跟水庫（大壩）之類的議題，依現在的時勢來講，一般人可能會認為這件事根本是倒行逆施；若說領台時期好的話，就被說成是復古主義，那水庫都已成既定事實，就沒有什麼好說的；可是如果說不要再爭論水庫議題的話，那就會被類推解釋為反撤壩吧。這些都不是敝人撰文的目的，若被以那樣的方式解讀，絕非本意。敝人只是想依照時間序列來談敝人的見聞及感想而已，並沒有鼓吹甚麼特別的思維跟運動的目的。敝人的意圖在別的層面，並且敝人也不是輕易隨著 2ch(日本網路論壇)的資訊而或憂或喜的御宅族，而是得到很多情報後，前

往現場驗證事實才發表，此點希望得到大家的理解。】

然而現在，有兩片以這個史話為題材的電影。一部是台灣製作的「水色嘉南」寫實電影，大約 5 年前開始製作，幾經波折(要網路搜尋)終於在台灣今年開始有電視播出。且當地已經開始販賣台語版的 DVD。內容是在近代的大事業裡面包括八田夫妻的私生活。這是第一次有關於戰爭前台灣華語戲劇，近日就要登上日本上映，猜想到時候一定會引起熱潮。

另外一部是動畫，片名是「八田來了!(パッテンライ)=台灣與水的故事」(日文片名パッテンライ是取自台語「八田來」的意思)」這部動畫片是描述日台兩個少年隨著水庫施工，跟隨八田技師從相處的觀察學習當中成長茁壯的故事。最後一幕聽到一青窈的片尾曲，眼淚快要掉下來，是很值得看的一部影片，雖然是動畫，不但小朋友，連大人也有觀賞的價值。製作者為原子小金剛有名的蟲製作公司跟與一的故鄉金澤的北國新聞社，企劃是(財)全國建設研修中心的緒方英樹，在製作的時候受文化廳支援，是日本教育部(文部科學省)及日本土木學會選定的影片。

現在依序，在日本各城市巡迴放映中，長沼町領先於去年(2009)2月辦試映會(在全國第三次，在北海道首次)結果非常受到好評。這時就開始向各種管道來尋求一般上映的機會，但仍受限於知名度低，遇到了瓶頸，令募集實行委員在這時吃盡了苦頭。

儘管它是日本教育部選定的動漫，但埋沒在歷史中的偉人傳記要能讓人理解，深切地感覺到只靠敝人等的力量不夠。「終究台灣的事情是 100 年前的，更遑論是距北海道很遙遠的南方台灣之水故事，只靠自己伙伴們的力量來加速熱潮的推進是不是有點勉強？在社會得到充分的認識之後才會好做的多吧，因走在時代的前面就有這麼困難。」我是這樣覺得。

就在差不多要氣餒的時候，收到一張 DVD。是本町二十九區的地方誌編輯委員且現任長沼土地改良區理事所寄來。片名是「夕張川」，劇情描述北海道開拓初期，始終橫衝直撞的舊夕張川洪水所造成氾濫災害，一直折磨著長沼・南幌(舊幌向)，造成當地居民的窮困，直到保原元二土木技師的出現才突破局面的偉大故事。電影是以長沼町議會議員，同時身為鄉土史家的故伊藤兼平先生的著作—小說《治水》(夕張川改道三十周年紀念刊物 2 年刊)為母材，參考南幌鄉土史家故野崎昭三先生的著作《夕張川治水史略》等長沼、南幌兩町的史書等作品改編而成。除了伊藤老先生自己，兩町許多實際存在的人物也納入劇中角色。悲慘的故事當中還有戀愛場面。這部電影是 2005 年由(財)北海道河川防災研究中心製作，電視上也播出過，但好像在本町看過的人還不到百分之十。

保原技師是剛到北海道廳任職後從事夕張川測量工作，對石狩川水系的治水關係深厚。接著赴任網走等，可說是在北海道的河川治理工作範圍廣泛的

水利技師。擔任 9 年的石狩川治水事務所長期間，訂定計畫將夕張川，原直角流向千歲川的舊川予以截彎取直，改道從本町三區至江別市街道前面新鑿一替代的新河道。在那段期間渡過財政困難及事故，掌控進度。工程一完成，該流域的水災立即大幅度減少。加上工程即將完成的時候，下游的農民為了避免洪水氾濫，情急之下做出了違法通水行為，保原技師也寬恕了等等，這兼有溫情的人格，被尊稱為「夕張川治水之父」。這些事情就長輩們而言很瞭解，但在年輕一代知道的人卻很少。

敝人只知道南幌町的清幌橋旁有保原技師的銅像(現在是河岸公園)，但看這片 DVD 之前都不知詳情。在長沼神社也有石碑，每年 7 月 1 日在南幌町，7 月 2 日在長沼町，兩邊都舉行慰靈和感謝典禮。看來不管國內國外，水利功勞者都受到尊敬的樣子。心中思忖著為了再一次回顧鄉土的歷史，這一部電影實在相當適合。

剛收到的 DVD—北海道「夕張川」，在八田來了實行委員募集的這段期間反覆播映了許多次。總共 45 分鐘。不經意間突然靈光一閃，「咦?...保原技師是不是從東京帝國大學畢業？如土木學科畢業的話，跟八田技師同一的學科吧？」「嗯？說不定是喔！」問題在心裡迴繞著，「在 100 年前的 1910 年，東京帝國大學土木學科畢業的話...會不會是同期同科？」馬上上網查，卻查不清楚。向札幌的日本土木學會北海道支部做確認，得到的回答是：「是否同期畢業，必須再詳查。」，隔天到本

町的圖書館查閱相關文獻，還是沒有答案，只得回頭再好好地把伊藤老先生的小說「治水」仔仔細細的再重讀一遍。

「嗯？有耶」「1910年明治43年7月10日、明治天皇蒞臨觀禮之下，帶著緊張的氣氛舉行東京帝國大學的畢業典禮。其中土木工學科是31名。」有這樣的描述。這31名的名單當中確實有記載兩人的名字。更令人驚訝的是，兩人的直屬主任教授叫做廣井勇，他和新渡戶稻造及內村鑑三同為札幌農學校【註釋8】的二期生，是為小樽港北防波堤的設計者。八田和保原兩位技師是同班同學，再加上兩位的主任教授控井勇是對北海道緣分非常深的人物。此外1910年就是距今年2010年剛好100年前吧，因緣巧合真是非常奇妙呀！

真是太巧了，這是怎樣的因緣際會啊！「嘉南大圳之父」和「夕張川治水之父」這兩個志趣相同的水利之父剛好100年前是同班同學，而且位在台灣和北海道的南北兩地，每年都有舉辦祭祀和感謝的典禮，也被作成小說，拍成電影。這事情或許是在天上界的兩人之外誰都不知道的吧？在全世界中探索，遇到這種故事也是百年難得一見吧——就像釋迦跟孔子在年輕的時候跟著同樣的師傅修行，在印度跟中國各自被當成聖人，差不多這樣的意思吧？

專心埋首於為台灣的「八田來了」找一般放映等等事情的敝人，意外發現這個事實後，土木學會北海道支部，也呼應說這些資訊已足以用來寫一本書了。不過，於此同時，敝人也提到「有關當

地的事，其實所知有限」。即便如此，「這二個技師為何出現在這時候？Why？」這一定是八田技師告訴我「在你的當地，保原君也盡了力了」我心裡開始這麼覺得。

看到這不可思議的關係，可不能沉默不提。本來以為「八田與一的故事」是在遙遠的台灣的史話，因為發現了這個厚重情誼的牽繫，就試著擇定雙種主軸，在北海道辦了一場「八田來了」跟「夕張川」兩部電影同時放映的上映會。主題為「北與南的水故事」，就是北海道跟台灣與水有關的電影會。如此對夕張川流域的居民多加宣傳的話，可以讓民眾知道故鄉的歷史，此外也可以瞭解與台灣間有緣分的機會。

將此事之意義置於首要地位，向各方面徵得廣泛的理解及贊同，募集實行委員們充滿了幹勁。然後，在這種情況下「北與南的水故事長沼上映實行委員會」接著成立運作。明天，7月19日就是上映日了，期待民眾能踴躍的參與。2010.7.18……待續

※原作參考文獻

- ◇台灣を愛した日本人—古川勝三
- ◇街道を行く台湾紀行—司馬遼太郎
- ◇日本人の精神—李登輝元總統
- ◇百年ダムを造つた男—齋藤充功
- ◇台湾の真相と心の声—林溪和
- ◇台湾の水庫—黃兆慧
- ◇DVD 嘉南大圳設計者—八田与一超芸映像公司
- ◇DVD 民眾の爲に生きた土木技術者達—大成建設
- ◇DVD 水色嘉南—中華電視公司
- ◇長沼町の歴史—長沼町
- ◇南幌町史—南幌町
- ◇小説 治水—伊藤 兼平
- ◇夕張川治水史略—野崎昭三
- ◇豊平川調査報文と保原 元二—中尾務
- ◇西の宮清談—北海道発局
- ◇パッテンライ—虫プロダクション、北国新聞社
- ◇夕張川—北海道河川防災研究センター(現北海道河川財団)

後記

7月19日「海之日」在長沼町總合保健福祉中心「Refre」，有整整三次的上映。非常感謝支持與協助的長沼町，以及來自各方的團體及個人的幫忙，感謝大家的參與。

這半年來，雖自認為計畫周到，但不能否認做得不精巧。遇到好幾次困難的局面，舉行日等也更動了有幾次。儘管如此，拜實行委員會的工作人員努力之賜，終能想辦法舉行，衷心想要說句「謝謝」。

以實行委員提出的資訊與上映會的舉行，一定有益於民眾認識到兩位成就卓越的工程師對分別位在北南的「北海道與台灣」居民所做的貢獻。也應該會對在兩地域為報恩而舉行的祭典有所瞭解。

那麼，活動成員的目的果真都有達成嗎？因為成員都是身為農業者，很容易被認為呼籲水利的重要就是最大目的。確實治水利水是重要的。古代中國的治水英雄夏禹王開闢了夏王朝；文藝復興的巨匠達文西有土木水利的功績，到現在在米蘭郊外還留有它的遺構；在日本的空海及行基也不只是宗教家，對水利事業也有貢獻。偉人大多是有水利功績的。

所以，我們不避談水利的重要性。事實證明，有萬全的治水利水工程做後盾，才会有現在的北方大地。台灣那邊的土地也是同樣的吧。但是，若只有把那些

事情提出來談，也只是討論到事實的一個面向而已。如今，只主張那些的話，只會置身在批判中傷的漩渦之中。

這兩部電影，豈只是為宣傳水利那樣的目的而製作？我覺得內在尚蘊藏著有更深更廣的感情。更加希望，透過二片選在同日放映能夠讓人感受到不同的韻味。至於活動有趣的地方，應該在每個參與人員的心中有各式各樣的體驗，所以我不敢說大家有一致看法。只是想藉由「北與南的水故事」能夠再次發現已被遺忘的，和逐漸被遺忘的歷史之間的聯繫。這件事，並非自網路任意轉載而來。而是來自明確的新事實。真心希望大家能認同我，從這個再發現中得到感動。

仔細想想，做夢都沒想到發生在遙遠的台灣的故事其因緣就在身邊。這因緣，拜伊藤兼平老先生稀有的情報收集力及號召力所賜，成就了北與南的水故事偶然連接。

接下來，像平靜的水面扔下一顆石頭，想要期待著一些迴響。那是也許有一天，涼風沙沙作響的夕張川堤防，或者是陽光穿透樹木的烏山頭湖畔，可能交互發現到語言不通但卻心靈相通的人影？期待著那時候就是新的水故事的開始，我想拙文就先在這兒停筆。

「北與南的水故事」
長沼上映實行委員會
事務局長 2010/07/25

「註釋」

- 【註釋 1】 參閱「日本の土工機械史」·大正 10 年頃開始 (1921-) 至昭和初期·各地勞動人力不足·機械化施工逐漸普及·為日本機械化第一次隆盛期。1922 年 (大正 11 年) 八田技師赴美考察·引進大型施工機械·用於官田溪貯水池堰堤築造工程之用的機械達 47 種之多。
- 【註釋 2】 八田外代樹夫人是金澤名醫之獨女·非常優秀·賢妻良母·幫助丈夫事業·育有八名傑出子女·長子故八田晃夫畢業於國立東京帝大土木科·戰後擔任愛知縣土木部長等建設省要職。又八田外代樹夫人銅像於 2013 年 9 月 1 日在烏山頭八田紀念園區宿舍前安置·讓民眾永久懷念。
- 【註釋 3】 嘉南大圳施工 10 年·1930 年 1 月完工在即·當時八田將回任總督府的派令已佈達·工作人員依依不捨·為利日後聯繫·組成「交友會」由八田技師擔任會長·交友會先為施工殞命的 134 名同事和家人慰靈並建殉工碑。另外交友會以八田與一會長平日工作沉思的坐像象徵全體工作人員的打拼精神·做為日後緬懷的精神食糧·推派 8 人發起募集 1,600 円·委託日本金澤市雕刻家「都賀田勇馬」雕塑·於 1931 年 7 月 31 日舉行揭幕典禮。
- 【註釋 4】 2012 年 8 月·頃獲青木生子女士來函·指出當年銅像隱藏的往事·經過求證後·以下為銅像倖存過程：青木生子之父坂井茂為建壩工程師之一·戰後服務「嘉南大圳組合」·兄長坂井登 1945 年時值 17 歲青年·當年戰備物資缺乏·技師的「銅像」被徵收送到鐵工廠將熔解供應戰事軍需使用·恰兄長坂井登於台南鐵工廠發現·通知父親連絡嘉南大圳員工·偷偷移走塑像·「銅像」藏在官田火車站的倉庫中。戰後銅像被倉庫職員發現·經過數十年·政經情勢較為緩和·由水利會於 1981 年在烏山頭水庫八田塚前加設台座·置放此銅像。
感謝坂井登先生父子·係八田銅像保留的關鍵人物·當年恐怖的政治氛圍中能保護銅像·真是何等冒險·今日仍為其勇氣感動·是水利會的貴人。
- 【註釋 5】 1931 年完成的銅像因 1944 年被徵用而消失了蹤影·戰後·在台豎立的眾多日本人銅像悉數遭國民黨政府拆除；八田銅像復位歷經 1975、1978 全部不准·甚至 1978 年政府追問銅像之事·水利會擔心惹惱當局·銅像會被沒收·甚至有可能被盜賣·所以 1978 年為銅像鑄造了玻璃纖維製的母模。1981 年再申請·政府不置可否·水利會乃加台座逕予復位。
2013 年 1 月 7 日日本土木學會曾參訪烏山頭舊檔案室中的母模·喚醒水利會方面將母模列入資產·在此敬表謝意。
- 【註釋 6】 1942 年起水利會每年舉辦八田追思祭典未曾間斷·1945.9.1 八田夫人歿·1946.12.15 完成八田夫妻墓·當年即迎回原奉厝台北「東本願寺」的八田骨灰合葬。民眾自由參拜。銅像尚未復位期間·1976 年以前·曾置於八田宿舍·常有民眾特地繞道宿舍前行禮膜拜·復位後祭拜的台日友人日漸增多·八田長公子八田晃夫·武田啓夫(晃夫東大同期同學)·及石川縣長井賢誓議長·金澤市中川外司議員等人建議為方便遠道者一起參加·1990 年水利會開始將原訂 10 點的墓前祭改訂下午 2 點舉行。
- 【註釋 7】 馬英九總統 2008.5.8 (第 66 次) 就任前首度參加八田祭典·2009 (第 67 次)·總統再次前往烏山頭水庫·參加「八田與一技師 逝世 67 週年追思音樂會」·並表示將重修八田宿舍·建立「八田與一紀念園區」·工程交由西拉雅國家風景區管理處執行·編列修復經費約 1 億元左右·在 2 年工期完成後·2011.5.8 (第 69 次) 來參加八田與一紀念園區啟用典禮。
「八田與一紀念園區」由西拉雅風管處先啟園試營運一個月·於 2011.6.8 正式交由嘉南農田水利會營運管理。
- 【註釋 8】 國立北海道帝國大學的前身。



広井勇

1889年留美返國後，1890年兼任北海道廳土木課長，進行多處港灣建設。1889年9月任教於東京帝國大學土木工程科教授到1919年的20年期間，培育諸多土木技師。理論、實務兼備，促使橋樑力學與築港學大進步。東大教授期間，勉勵學子「造橋當造人人安心行走的橋」學子們深受啟發與薰陶。



八田與一
1910年東京帝國大學土木工程科畢業隨即來台灣投身水利等事業建設。

1910年(明治43年)7月10日東京帝國大學卒業式當年的卒業生有鎌形勝弥、中村廉次、保原元二、小川信次、兩宮弘一、高田庄二、菊地英彦、平井喜久松、本間孝義、三原久、八木弁吉、山田胖、青木精一、衣川清一、佐橋新一、橘英三郎、春木節郎、八田与一、秋田重季、岡本清、鈴木秀彦、東郷外人、久永勇吉、吉富義助、蘆田京介、關毅、永田光之助、真島寅三郎、佐藤正吾、永山弥次郎、松村努等31名。



保原元二
1910年東京帝國大學土木工程科畢業隨即赴北海道投身河川治水事業。



嘉南大圳為日治時期最重要水利工程，興建始於1920年，內容包括灌溉、排水、防潮、防洪等，是當時東亞規模最大的水利工程。



西元1930年，大圳通水啟用後，而隨之推行的三年輪灌制度將原本的旱田變成水田，單位面積產量大為提升。可達動工前的二至五倍，一躍成為臺灣最重要的穀倉。



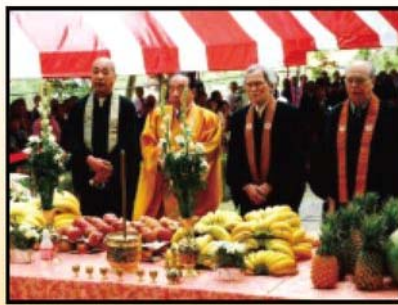
夕張川治水事業的建設從1910年起共超過27年時光。夕張川放水路自1922年起削掘新堤防，浚深河床，導入最新機械，至1936年，歷15年時光方開鑿完成。



夕張川放水路完成後，其效益卓著，流域稻米產量跳躍成長，立即帶動長沼町、西長沼農家及耕地大增。挑戰泥炭地的工程師保原元二技師係為低地開發的大恩人。



烏山頭鑿掘作業用的挖掘機
(エキスカベータ) (1922)。



追思會中依往例安排法師誦經、
家祭、公祭儀式。
照片係2012年前，石川縣議會議
長長井賢誓先生誦經祈福畫面。



2009年在日本土木學會台灣分會
的推薦申請下，烏山頭獲選為日
本土木學會在日本本土外認定的
第一件土木遺產。

巧合的是廣井勇教授正是日本
土木學會第六屆的會長。



秉持台灣古諺吃水果拜樹頭的報
恩心，獻上白菊花，對八田技師
所象徵的無私精神抱以永恆的追
思。



家祭，相片係2012年參拜畫面
左1 八田長孫 八田修一
左2 八田長媳 八田綾子
左3 八田長兄誠一之長子八田守
左4 八田長孫媳 八田弥生



新水路掘削機械(挖土機)
(目前仍有機具保存於札幌河川
事務所)



對治水之功績奉獻祭拜



2011年日本土木學會認定北海道
「夕張川新水路」為2011年土木
遺產。



保原元二技師銅像原1940年(昭和
14年)立於義經神社，戰時銅像供
出，1961年(昭和36年)重鑄改立於
なんぼろリバーサイド(南幌河濱
公園)。



自1954年(昭和29年)，每年7月2日
，長沼町「水の祭典」，會場長
沼神社，祭拜「水靈之碑」及
「保原元二技師」之碑。

2009 年度日本土木学会土木遺産 八田與一技師と烏山頭ダム

2009 年 11 月 21 日、烏山頭ダムは日本土木学会の海外において初認定の土木遺産に選ばれた。

烏山頭ダムは世界で唯一残っている今日まできちんと保存され、現在でも現役で稼働している半水力填築式を利用したダムである。建設工事の面でも非常に独創的で歴史的価値を持っている。このダムと同時に建設された総延長 16,000km の灌排設備をあわせて嘉南大圳水利システムと呼んでいる。夏季の洪水と冬季の旱魃により不毛の地と言われてきた台湾南部の嘉南平原(1500km²)は台湾最大の穀倉地帯へと変貌を遂げた。

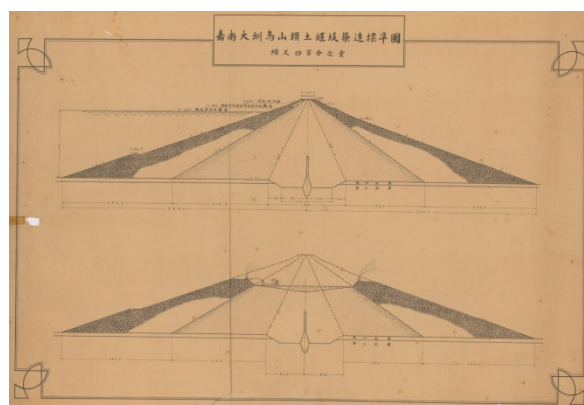
烏山頭ダムは当時の日本人土木技師が世界最高水準であることを証明しただけでなく、嘉南大圳は農業生産を推進し、土木技術を向上させたことにより、台湾経済の発展に多大なる貢献をもたらした。

はつた よいち



八田與一
烏山頭出張所所長の
写真

八田與一(1886 年 2 月 21 日 - 1942 年 5 月 8 日)、石川県出身。台湾の嘉南大圳の設計者、烏山頭ダムの建設者であり「嘉南大圳の父」、「烏山頭ダムの父」と呼ばれている。1910 年に東京帝国大学を卒業後、五十六歳で他界するまでずっと台湾で就職と定住をし、ほとんどの時間は台湾で仕事をした。台北の下水道建設、高雄港の建設、台南水道の計画(山上浄水場)、日月潭水力発電所、桃園大圳、大甲溪電源開発計画等の日本統治時代における台湾現代化の重要な土木工事に参画し、さらに曾文ダムの構想設計を提案した。その他に台北で土木測量専門学校の設定、「台湾水利協会」の創立ならびに専門誌を創刊し、台湾の水利土木専門の人材育成にも力を注いだ。生涯を



烏山頭土堰堤築造標準圖



烏山頭水庫鳥瞰圖

通じて台湾の建設に参画し、優れた貢献により後世に至るまで人々の尊敬を集めている。

烏山頭ダムは企画設計、施行ともに日本人技師の指揮の下で行われた。設計者は当時の台湾総督府技師の八田與一氏であり、八田技師の施工監理により、台湾人労働者の他、大倉組土木(現大成建設)を中心として、鹿島組(現鹿島建設)、住吉組、大野組、太田組、江中組、帝国土木株式会社、大和工業、月島機械等の企業も参加した。

嘉南大圳水利システムは日本統治時代に10年の歳月をかけて建設され、1930年に完成した。当時としてはアジア最大級のダムであり、土堰堤は

セミ・ハイドロリックフィル工法を用いて築造され、着工から9年を費やして完成した。導入された大型機械はダム完成後も継続して花蓮港等の多数の建設に用いられ、台湾経済に多大な貢献を残した。

八田技師の功績は地元の人々に神のごとく称えられ、台湾全土の人々にも広く知れ渡った。八田技師の没後70年を経過した今でも、命日である5月8日にはダムの管理機関である嘉南農田水利会の主催により、ダムのほとりにある八田技師夫妻の墓前で「八田技師墓前祭」が毎年行われており、近年において日台友好の象徴となっている。



烏山頭水庫土堰堤

2011 年度日本土木学会土木遺産 保原元二技師與夕張川新水路

平成 23 年 10 月 14 日、石狩川支川の夕張川新水路（長沼町・南幌町・江別市）が、2011 年度土木学会選奨土木遺産に認定された。

石狩低平湿地を蛇行していた夕張川を直接石狩川へ合流させ、水害常襲地帯を穀倉地帯へ変貌させる礎となったショートカットで、歴史的土木施設としての高い価値が認められた。

この歴史的偉業は、夕張川洪水の禍根を断とうと、挑みつづけた人々の英知と情熱で成し遂げられたものだ。

ほばら もとし



保原元二
第 5 代石狩川治水
事務所長の写真

保原 元二(1883 年 2 月 2 日－1966 年 12 月 23 日)，日本宮城県出身。第 5 代石狩川治水事務所長。

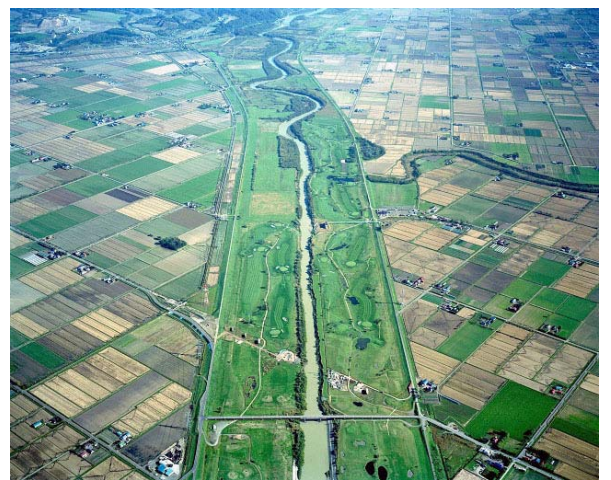
東京大学を卒業後、北海道に渡り、河川改修などの土木事業に従事した人物。

明治 43 年、若き道庁技師が南幌町に降り立ちました。後の石狩川治水事務所第五代所長、保原元二です。保原は民家に泊まりながら、住民から水害状況を聞き、夕張川の調査と測量にあたります。屈曲した川筋に力を入れるより、直通放水路をつくった方が将来のため有利であるとの結論に至り、約 40km の旧夕張川途中から約 11km の新水路を引き、直接石狩川に切り替える、夕張川治水の大方針が決まりました。

そして昭和 11 年、15 年の歳月を費やした夕張川新水路が完成。翌年、石狩川合流点から約 2,200m 上流に約 4m 落差の「ナイヤガラ」の滝」状の流れが出現したため、床止の下流に第二



旧夕張川と夕張川新水路



新夕張川放水路

基目の床止を施工ります。

夕張川治水工事は大正 11 年に着工された新水路の掘削と堤防、河床洗掘防止のための清幌床止、清幌橋や江別大橋等の架橋も行います。保原は工事進行や中央との折衝など、明治 43 年から昭和 11 年までの 27 年間、半生を夕張川治水に尽くしました。

この夕張川放水路整備は地域住民に感謝され、現在でも、地元の南幌町では 7 月 1 日を「治水感謝祭」として休日とし、義経神社において治水の感謝と殉職者を慰霊する祭りがおこなわれている。七月二日には長沼町で、其々慰霊感謝の祭典がなされている。



清幌床止位置圖



明治 43 年頃



現在之清幌床止 (平成 4 年攝)

2009 年度日本土木學會土木遺產 八田與一技師與烏山頭水庫

2009 年 11 月 21 日烏山頭水庫獲選為日本土木學會在日本本土外認定的第一件土木遺產。

烏山頭水庫大壩是世界僅存目前保存完整且正常使用營運中的半水力式填築壩，工程上具相當之獨特性與歷史價值。與該水庫同時建造水路總長 1 萬 6000km 灌排設施，合稱嘉南大圳水利系統。原先夏季氾濫、冬季乾旱完全不適合農業用的不毛之地的台灣南部的嘉南平原(1500km²)轉換成台灣第一的穀倉地區。

烏山頭水庫不僅印證了當時的日本土木技師為世界最高水準，嘉南大圳的完成，促進農業生產、土木技術的提升，帶給台灣經濟發展極大的貢獻。

八田與一(1886 年 2 月 21 日—1942 年 5 月 8 日)，日本石川縣人，台灣嘉南大圳的設計者，烏山頭水庫的建造者，有「嘉南大圳之父」、「烏山頭水庫之父」之稱。自 1910 年日本東京帝國大學畢業後，到五十六歲過世為止，一直都在台灣任職定居，幾乎都在台灣工作。曾參與台北下水道興建、高雄港興建、台南水道計畫(山上淨水場)、日月潭水力發電所、桃園大圳、大甲溪電源開發計畫等日治時期台灣現代化的重要土木工程，並提出建造曾文水庫的構想；此外還在台北設立土木測量專門學校，並創立「臺灣水利協會」和專業期刊，培養台灣土木水利人才。畢生建設台灣，貢獻卓越，受到後世尊敬。

烏山頭水庫的規劃設計施工均為日本技師指揮之下執行。設計者為當時台灣總督府技師八田與一先生，在他

的監督之下，除台灣工班外，以大倉組土木(現在的大成建設公司)為主，鹿島組(現在的鹿島建設公司)、住吉組、大野組、太田組、江中組、帝國土木株式會社、大和工業、月島機械等等的各公司，共同參與。

嘉南大圳水利系統，日治時期經過 10 年的施工，於 1930 年完成，當時為亞洲最大的水庫，水庫壩體使用半水成式工法建造，施工 9 年才完成，之前所引進之大型機械在水庫完工後繼續用於花蓮港等許多建設上，對台灣經濟貢獻良多。

八田技師之功績被在地居民如神明般的仰慕，台灣全土廣知。雖然八田技師死後已 70 年以上，他的忌日 5 月 8 日，每年由水庫管理機關嘉南農田水利會主辦，在水庫旁夫妻的墓前舉行「八田祭」追悼大會。近年來已形成台日友好的象徵。



獲選土木遺產的認定書及獎匾 感謝：日本土木學會、日本土木學會台灣分會

2011 年度日本土木學會土木遺產 保原元二技師與夕張川新河道

平成 23 年 (2011 年) 10 月 14 日，北海道石狩川的支流「夕張川新水路」(夕張川新河道)(長沼町・南幌町・江別市)，榮獲 2011 年度土木學會土木遺產之殊榮。

使原來蜿蜒流過石狩低濕地平原的夕張川，直接與石狩川匯流，即採用截彎取直之治水工法一開鑿新河道，成為將水災頻繁地區變貌為穀倉地區的基礎，以此作為歷史性的土木治水設施，其崇高的價值獲得肯定。

此具有歷史意義的偉業，乃是想斷絕夕張川洪水禍根而不斷挑戰的人們，以睿智和熱情所完成的。

保原元二 (1883 年 2 月 2 日 - 1966 年 12 月 23 日)，日本宮城縣人，第五任石狩川治水事務所長。

東京大學畢業後，遠渡北海道，從事河川修建等土木工程事業的人物。

明治 43 年 (1910 年)，年輕的北海道廳技師來到南幌町。他便是後來的第五任石狩川治水事務所長保原元二。保原住宿在民家，聽取居民說常患水災的情形，經調查及測量規劃夕張川治水工程，最後得到「與其在彎彎曲曲的河道上下功夫治水，不如改作直通河道，對將來排洪有利」的結論，將長約 40 km 的舊夕張川從中途開鑿約 11 km 長的新河道，直接合流於石狩川，夕張川的治水工程大方針就此決定。

於是在昭和 11 年 (1936 年)，耗費 15 年歲月的夕張川新河道完工了。次年，因為在距離石狩川匯流點約 2,200m 上游出現落差約 4m 的「尼亞加



清幌床止(昭和 16 年完成)
(清幌固床堰，1941 年)

水流，因此在固床堰的下游施工第二座固床堰。

夕張川治水工程於大正

11 年 (1936 年) 動工挖掘新河道及新建堤防，也進行為防止河床沖刷的清幌固床堰及清幌橋、江別大橋架橋等工程。保原為工程進行以及與中央交涉等等，從明治 43 年 (1910 年) 到昭和 11 年 (1936 年) 的 27 年期間，為夕張川治水奉獻了半生。

地區居民因感謝夕張川新河道的整建，時至今日，南幌町當地乃將 7 月 1 日訂定為假日「治水感謝節」，在義經神社舉行感謝治水及追悼殉職者的祭典。7 月 2 日則於長沼町舉辦個別追悼的祭典。



獲選土木遺產的認定書及獎匾 感謝：日本土木學會、日本土木學會台灣分會
拉大瀑布」(Niagara Falls) 類似的

悲願の夕張川新水路の通水

夕張川は、開拓当初からひどい暴れ川でした。水源の夕張山地から、栗山、長沼を通り幌向にかかるあたりから、急に西に向きを変えます。そして、長沼と幌向の湿地帯をくねと蛇のように曲がりくねって、江別の境界で千歳川に合流します。春の雪解けのころや、秋の長雨が続くと夕張川が増水して、又石狩川から逆流してきた水も加わり、どんな頑丈な堤防でも決壊してしまいます。

特に千歳川との合流に近い「木詰」という場所は、その名のとおり、上流から流されてきた樹木が折り重なるように積み上げられ停滞し、水が膨れあがる場所でした。川の水は堤防を越え、じわりと町を覆いました。水が引くまで10日ほどかかり、農作物もだめになりました。村の人々は雨が降ると半鐘を鳴らし、川から水が流れ出さないように、堤防に土俵を積んで対処していました。村の人々にとって水害の根絶は切実な願いだったので。

ある年の秋、雨が降り続き、たちまち水かさが増してきました。川の両岸、つまり幌向と長沼の村じゅうの人たちが総力をあげて、決壊を防ぐために競って土嚢を積み上げました。しかし水は努力をあざ笑うかのように勢いを増していきます。このままだとどちらかの堤防が破られてしまいます。破られた方の田畑は水に浸かり大打撃を受けますが、対岸の村は助かります。自分たちの田畑と家を守るために必死で土嚢を積み上げます。そのとき対岸の堤防が決壊して、濁流が流れ込んでいきます。

おもわず「バンザ〜イ、バンザ〜イ。」「助かった助かった、バンザ〜イ」と叫んでしまうのでした。向こう側の村が気の毒と思いつつも、自分たちの村が助かったこのことを喜び合うのでした。いつしか、この堤防を「バンザイ堤防」と呼ぶようになりました。



▲「木詰」 夕張川流木河道閉塞の状況
「木詰」夕張川流木河道閉塞情形



▲泥炭地では、人がトロッコをひいて土砂を運搬して（札幌河川事務所蔵）
在泥炭地上人拉台車搬運砂石



▲大正11年；すべて手掘り工事だった。軟弱な泥炭層なため、トロッコが脱線する事故が多かったという。

大正11年：全部是手工挖掘的工程。因為是軟弱的泥炭地，據說經常發生台車出軌意外。

明治43年、道庁が夕張川の調査を開始し、保原技師が川の流れを分けて新しい水路を造る「分水路」案を提案します。

<川の合流地点から江別までは直線距離で11kmの距離だが、実際の夕張川は、



▲エキスカベーターによる掘削（木製の五合積土運車で運搬）
以挖土機挖掘（以木製五合積土運車搬運）



▲昭和3年頃の掘削機土取場線路移動作業（札幌河川事務所蔵）
昭和3年左右挖土機挖土場軌道移動作業



▲浚渫船「昭和号」（昭和2年配置・ポンプ船・浚渫能力300m³/h）
挖砂船「昭和號」（昭和2年配置・幫浦船・挖砂能力300m³/h）

その3倍の40kmもあって、曲がりくねって千歳川に流れ込んでうる。このため、夕張川を「クッタリ（地名）」のところで止めて、真っ直ぐに石狩川へ流すためには新しい川をつくらねばならない。>という結論に達します。

しかし、財政難で工事着手は大正11年まで延ばされ、その間、住民は自費で堤防を築き、工事の促進運動をつづけた。ようやくはじまった工事は、保原元二技師の指揮のもとに行われましたが、泥炭湿地な軟弱地盤

のため、人力掘削と馬による運搬に頼るしかありませんでした。多くが東北出身の労働者は、午前3時に起床、午後8時ごろまで働く毎日でした。難工事であっても、昭和3年に南幌と江別の渋川間の連絡水路が完成、9年からは豊平川から浚渫船・昭和号が転用されて工事は一層進み、昭和12年になって、15年の歳月をかけた工事は関係者の歓呼するなかで夕張川新水路の通水が行われた。住民の切実な願いだった水害の根絶に、大きな貢献を果たしたのです。

町民の悲願だった夕張川新水路が、まちを救った

— 洪水常襲地から安全なまちへ

それまで千歳川に合流していた夕張川を、石狩川に直接流す『夕張川新水路』の工事は、大正11年に着工され昭和11年によく完成した（夕張川が合流する地点から下流は「江別川」と呼ばれていた）。この間も、夕張川流域はたびたび水害に見舞われていたため、完成間近に発生した昭和11年5月洪水では、南幌町と長沼町の住民が大勢でやってきて、夕張川と未完成の新水路の境界を強引に掘って、洪水を流れ込ませる出来事が起こった。それほど両町は水害に苦しめられてきた洪水常襲地で、夕張川新水路の完成は町民の悲願であった。

新水路が完成した両町には、水害の危険性が減ったことから入植者が増え、米の収穫量は飛躍的に増えていった。長沼町では、農家が増えたため小学校が新設されたほどだった（西長沼小学校）。



▲昭和11年、夕張川新水路の通水（「石狩川治水史」から）
昭和11年、夕張川新水路通水（取材自「石狩川治水史」）

誓必實現之夙願— 夕張川新水路之通水

夕張川在開墾之初是經常嚴重氾濫的河川。從水源地夕張山開始，流經栗山、長沼來到幌向改變流向，急轉向西。然後如蛇行一般蜿蜒流過長沼與幌向濕地，在江別의 交界處與千歲川合流。每逢春天雪水融化或秋天長雨不斷，夕張川水量就爆增，又加上石狩川的水倒灌進來，再怎麼堅固的堤防都會潰決。

特別是在與千歲川合流處附近，有一個地方叫做「木詰」。此地恰如其名，從上游流下來的樹木在此交錯重疊，成堆停滯，以致水位高漲更為嚴重。河水越過堤防，慢慢淹沒村莊。等水退去大約需要 10 天，這時農作物也付諸流水了。村民們只要下雨就敲響吊鐘來示警，為防止河水溢堤，在堤防上堆沙包對應著。對村民而言，杜絕水患是極迫切的願望。

有一年秋天，降雨持續不斷，轉瞬間水量立即增加。河流兩岸，也就是幌向與長沼兩村村民，傾全村之力競相堆沙包來抵禦洪水。但是水似乎在嘲笑村民的努力一般，氣勢不斷增強。如果持續下去，堤防就會潰決。潰決的那一岸田地便會浸水，遭受嚴重損害，但對岸的村子卻會得救。

為了守護自己的田地和家園，河堤兩岸村民分別據守岸邊拼命比賽似地堆沙包。一旦對岸的堤防潰決，混濁的水流向對岸，就禁不住高喊「萬歲、萬歲～」…「得救了！得救了，萬歲～」。儘管覺得對岸的村子很可憐，還是彼此慶幸自己的村子得救。於是不知從甚麼時候開始，這道堤防就被稱為「萬歲堤防」了。

明治 43 年，道廳開始展開夕張川調查工作，保原技師提議讓河道分流，來興建新的河道—「分水路」的方案。

其結論為〈從河川の合流點到江別の直線距離約 11 km，然而實際上的夕張川，是直線距離的 3 倍以上，長達 40 km，彎彎曲曲地蜿蜒蛇行匯流進入千歲川。

為此，若能在「クッタリ（地名）」(kuttari)的地方止住夕張川，讓水轉向，直直放流到石狩川，則必需興建新的河道，以便達到分流的效果〉。

但是，由於財政困難，工程一直延到大正 11 年才動工。在這段期間，居民自費築堤防，並進行工程的促進運動，持續爭取工程能及早進行。總算開始的工程，好不容易地在保原元二技師指揮下進行了，但是附近都是泥炭濕地的軟弱地盤，只能仰賴人工挖掘、靠馬匹搬運，很多東北出身的勞工，每天半夜 3 點起床，一直工作到晚上 8 點。儘管困難重重，仍於昭和 3 年完成南幌與江別の洪川之間的連絡水路、昭和 9 年開始，從平豐川改用挖泥船，工程也加速進行、昭和 12 年，歷經 15 年歲月之後，終於在相關人士的歡呼聲中，夕張川新水路工程完工通水了。對居民迫切杜絕水患的願望，作出了偉大的貢獻。

村民盼望的夕張川新河道救了村莊—從洪水經常肆虐的地方變成安全的村莊

將以往和千歲川合流的夕張川，直接引入石狩川の『夕張川新河道』工程，於大正 11 年才動工，到昭和 11 年總算完成了。（夕張川合流地點以下稱為「江別川」）。這段期間，夕張川流域仍屢屢遭受洪水侵襲；就在接近完工前的昭和 11 年 5 月，眼看著洪水迫在眉睫，南幌町與長沼町の村民們心裏急燥，再也按捺不住，為了避開洪水，發生了眾多村民違法強行挖開夕張川和未完成的新水路中間的交界，使得洪水湧入之事件（保原技師對這一過失也寬恕了，據說，就當成試通水了）。長期被水災折磨，時常遭受水患之苦的兩村莊，殷望中，夕張川新河道的完工真是完成了村民的夙願。

新河道完工後的兩村莊，因為水患危險性減少，入住者增加，米的收穫量大幅增加。在長沼町，甚至因為農家增加，而新增設小學（西長沼小學）。

南北水絲路 聽水說故事



北海道と台湾

財團法人紀念八田與一文化藝術基金會